

## 物流施設を分譲保有

イーソーコ 日本物流施設を設立  
など5社

大成倉庫(本社)東京、

ダイワコーポレーション

(同)、東京倉庫(同)、イ

ソーコ(同)、イーソー

コ総合研究所(同)は五社

共同で、物流センターに特

化した分譲事業を行う新会

社、「日本物流施設株式会社

」を設立し営業を開始し

た。新会社の所在地はイーソ

ソーコ総合研究所のある東

京、港区芝浦の第三東運ビ

ル、資本金一千五百万円、

社長にはイーソーコ総合研

究所の河田榮司氏が就任。

第一号案件として、中部圏

の物流施設の開発計画を進

めている。

新会社は分譲手法を活用

し、最新のランブウェイな

どが付いた高機能大型物流

施設を複数企業が区分して

保有する提案を行う。区分

保有することで、一社あた

りの投資金額を大きくする

ことなく、大型の優良物流

センターを開発することが

可能となる。物流企業は競

争力のある施設を保有し、

メーカーなどの荷主企業

へ、物流提案を行えるよう  
になる。

物流施設の分譲は、これ

までほとんど事例がなく、

専門に行う企業は新会社が

初めてだと思われる。河田

氏は「不動産では分譲とい

う考え方はよく利用され

る。それを物流業界に取り

込むことで、物流企業は最

新の自社施設でより幅広い

物流不動産戦略を取ること

ができる」と語る。